

教育民生委員会

処遇改善は今年2か月のみ？

説明 少子高齢化への対応と、新型コロナウイルス感染症への対応が重なる最前線において、
①保育園等で働く保育士等
②放課後児童クラブで働く児童支援員等
の処遇改善を図るため、令和4年2月から月額3%程度の賃金改善を行う保育園（児童クラブ）等に対し、必要な経費を補助する。

問 2月、3月の処遇改善措置が図られたとして、4月以降は、どのようになるのか。

答 保育園等、児童クラブとも4月以降は、新年度予算で計上する予定である。

財源は、どちらも4月から9月まで国からの補助金で、10月以降は交付金による措置がある。

来年度以降も、継続して賃上げ、処遇改善が図られるものと考えている。

空調使用料の変化はあるのか。

問 スポーツ交流館アリーナの空調使用料は1時間当たり4,000円と、利用者負担が大きい。今回の空調設備改修工事は、熱源がボイラー式から電気式に変更になるとのことだが、電気代が下がれば使用料も下げる考えはあるのか。

答 試算の段階だが、現行より減額できるものと見込んでいる。適正な使用料を算出し、工事後の利用再開までには、運用体制を整えたい。



空調設備改修工事を行う鯖江市スポーツ交流館

議会等改革推進特別委員会

本委員会では、市と議会のチェック＆バランスの機能保持のため議会運営はどうあるべきか、「通年議会制度や臨時議会の積極的な活用」などの研究・検討を行っています。

コロナ禍のため、オンラインで研修を実施

富山県南砺市議会（先進地）

令和3年11月16日

先進地として、「通年議会」に取り組んでいる南砺市議会のお話を聞き、質疑応答および意見交換を行いました。

通年議会で得られるメリット・デメリット、実際に運用する中で分かってきた様々な事柄について、南砺市の実情を交えながら伺うことができました。



山陽学園大学 澤 俊晴 准教授（講演）

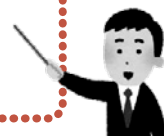
令和4年2月3日

元広島県職員で、地方自治の分野で活躍しておられる澤准教授の説明を受け、質疑応答を行いました。地方自治の適正な運営のためには、首長と議会が持つ権限のバランスを保ち、議会の市長に対する監視機能を働かせることが重要であり、そのために、臨時会や通年議会の活用が有効とのことでした。



※ 通年議会とは…

現在、年に4回の会期を定めて定例会を開催していますが、これを通年（1年間）として閉会期間をなくするのが通年議会です。



急激な新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、12月定例会において承認された議員派遣の各委員会の行政視察につきましては、中止といたしました。